

会議・打合せ等記録

名 称	令和 7 年度 第 1 回 鹿沼市立川上澄生美術館運営委員会
日 時	令和 7 年 8 月 7 日（木）午後 1 時 30 分～2 時 30 分
場 所	鹿沼市民情報センター 研修室
出 席 者	運営委員：高橋進氏、原和雄氏、藤田義昭氏、有坂隆二氏、中西泉美氏、 秋澤一彦氏、竹澤英明氏 （欠席者：伊藤伸子氏、大貫 敏氏、伊藤 涉氏） 事 務 局：中村教育長、佐藤郷教育次長、齋藤館長、戸崎事務長
内容及び 結果等	議事進行 （1）令和 6 年度 事業報告について…資料 1 により戸崎が説明。 （2）令和 7 年度 事業中間報告について…資料 2 により戸崎が説明。 （3）質疑応答 ○令和 6 年度 事業報告について 開館 33 年目を迎え、入館者数増加に向けた企画展・イベントを継続実施。 特別企画展「昭和 100 年東京回顧展」（令和 7 年 9 月 13 日～11 月 24 日）準備中。 令和 6 年度は企画展示 3 回、特別展示 1 回、小企画展 6 回、公募展（第 27 回木版 画大賞）を実施。 教育普及事業（夏休みクイズ・木版画教室・「みんなのもとへアートを届けます」 展等）を実施。 全国的な公募展減少の中、木版画大賞は「登竜門」として高く評価。今後は全国的 な広報を検討。 決定事項 1. 令和 8 年度の公募展運営方法（ビエンナーレ化等）を引き続き検討。 ○令和 7 年度事業中間報告について 企画展「語り継がれる寓話と神話」（4/12～8/31）入館者数：6/30 時点で 1,224 名。 特別展示「初夏の風」（4/12～5/12）：627 名。 小企画展は 6 回開催予定。 入館者増加要因はワークショップや地域連携イベント（和装まち歩き等）の効果。 職場環境・人的リソース不足が深刻。館長・事務方の業務負担過大。 デジタル環境整備（Wi-Fi 導入）の必要性を確認。教育普及やデジタルアーカイ ブ活用のため予算要望を検討。

会議・打合せ等記録

	企画展入場料は現行条例では別料金設定不可。他館事例を参考に条例改正を検討。 現在の企画展で一部資料に解説文がなく、観覧者理解を阻害。学芸員不在が要因。 決定事項 1. Wi-Fi 導入について予算要望を行う方向で検討。 2. 企画展入場料制度の条例改正の必要性を確認。 3. 学芸員不足に伴う運営・展示上の課題と対応 昨年 3 月以降、学芸員退職・休職により人員不足。現在は文化課から 1 名が兼職で対応。 次回までの課題・対応予定 特別企画展「昭和 100 年東京回顧展」(9/13～11/24) 開催準備。 令和 8 年度公募展の運営方法検討（ビエンナーレ化含む）。 Wi-Fi 導入計画と予算要望の具体化。 作品資料寄附受入の調査継続。 学芸員採用選考の進行と採用時期確定。		
配布資料	別紙のとおり		
次回予定	令和 8 年 2 月 12 日（木）午後 1 時 30 分から 情報センター3 階学習室		
記 録 者	戸崎 守		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第 2 条に基づく審議会等の公開状況			
(該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)			
公開・非公開の別	公 開 ・ 非公開	(公開の場合) 傍聴人数	人